

ご縁の「縁」+楽しむという意味の英語「ENJOY」=「縁じょい」つながりながら楽しむという取り組みです。

ボランティア・サンクスフェア with 縁じょい

令和の時代は、 共生社会を実現する時代に!



縁じょいライフ
事業紹介



きらりびとみやしろ
の『バザー』



さわやかクラブ
の『輪投げ体験』



いきいき
百歳体操体験



協力団体の
皆さんです!!



宮代町社協
マスコット
キャラクター
「みやびよん」
です

宮代町は住民の一人一人が主役です!!

ボランティア・サンクスフェア～with縁じょい～を昨年度に引き続き開催(2019年11月23日)しました。年号が平成から令和に変わり、今、時代のキーワードは、**共生社会**(人と人が支え合い、相互に認め合いながら生きていくこと)と、**人生100年時代**です。

人間誰も一人で生きていくことはできません。今は健康で、一人でもなんでもできたとしても、**いずれ何らかの支援を必要とする時が必ず来**

ます。住み慣れた地域で生活する仕組みづくりには、『**お互い様の精神**』や、『**助け合うことが当たり前の文化・風土**』が必要です。そのためには、私たち一人ひとりが、どのような地域にしたいか考えること、その小さな一歩が大切になってきます。

ボランティア・サンクスフェア～with縁じょい～は、ボランティア団体、福祉作業所、生活支援提供団体、学校、地域交流サロンなど、宮代町を構成する多くの人の協力

があって初めて成立するイベントです。今回ご協力して頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

また、参加して頂いた皆様、ぜひご自身の興味のある活動に参加する『きっかけ』にして頂ければと思います。もちろん、今すぐにではなくても大丈夫です。『**やってみたい**』と思う時にぜひ、このイベントに足を運んで頂ければと思います。

縁じよいフェスティバル2019

参加

学習

活動

孤高の挑戦者が語る! 令和時代の新しい 時間の使い方



今回のイベントでは、東京都初の民間出身の校長を務めたことで知られる、**教育改革実践家の藤原和博(ふじはらかずひろ)**氏をお招きし講演して頂きました。

講演では、学習する機械が、人に代わって仕事をする社会が目の前にきている中で、**人にしかできない力とは何か。**それは仮説を立て、みんなが納得する答えを出す力、これこそが求められている「力」だと。

実際にその力を身につける体験として、近くの参加者同士で熱のこもった話し合いをしていただきました。また核家族化で、つながりが希薄し、地域で子どもたちを守れなくなっている中、身近な活動が活発になることは、**自分たちの生きがいでなく、それ以上に子どもたちのためになっている**とも。

これからは、**今の目標を進みながら、更に次の目標を決め、常に挑戦し続ける時間を作っていきましょう**というエールを送っていただきました。

アクティガシニア?
の皆さんも参加

B-WP フリースタイル ダンスバトル

町長も
ダンスに
チャレンジ!



令和元年11月24日(日)に【B-WP】(B BOY&Welfare Parkの略で、ダンスと福祉が交じり合った企画)が開催されました。

企画の発起人は、以前縁じよい交流会で司会を担当して頂いた、吉川亮平さんです。福祉もダンスも、他では得られないやりがいや、お金では換算できない価値がある分野です。しかし、

少なからず偏見や誤解があるのも事実です。吉川さんは、『なぜ?誤解や偏見が生まれるのか?』ということを考え続けられた結果、それは『知らない』ことが原因の一つだと考えるように。

そこで、福祉とダンスを組み合わせたイベントを今年の5月に初めて開催し、今回はぜひとも縁じよいメンバーに登録されている皆さんにも、

参加して頂きたいということで、縁じよい通信にお知らせを同封させて頂きました。今回はご都合で参加できなかった方は、ぜひ次回開催時には、参加してみてください。そこには世代間ギャップを越えた、非日常的な世界と感動が皆さんを待っています。**新しいことに挑戦する彼らのストーリーを応援に行きませんか。**